

ゆめ・わく・わく通信

No.2

2014年10月8日発行

◇発行者：船引南地区幼・小・中連携推進委員会（担当 芦沢小学校）

船引南地区幼小中連携事業「ゆめわくわくプラン2014」

船引南地区では、平成20年度より芦沢小学校・幼稚園、船引南小学校・幼稚園、船引南中学校の3校2園が連携して、豊かな心と確かな学力を身につけさせることを目的に「ゆめわくわくプラン」を推進しています。

1 南地区生徒指導対策協議会（平成26年9月9日）於 芦沢小



9月9日（火）に生徒指導対策協議会が行われました。船引南地区幼・小・中学校PTA連絡協議会役員等が参加し、各校の課題及び夏休み中の生徒指導について話し合いが行われました。

話し合いは、まず、小グループ（5～6人）で行われ、次に全体協議をしました。事前アンケートや各校の資料をもとに「メディア（TV、DVD、インターネットなど）」を1日に2～3時間、視聴している児童生徒がみられる実態から、学校でできること、家庭と協力することを中心に活発な情報交換が行われました。

2 第2回授業研究会（平成26年10月3日）於 船引南小



めあてをつかむ



グループで発表する



代表で発表する

「学び合いのある授業の創造」を柱に授業研究会が行われました。

- 1 「話すこと・聞くこと」の実践について
- 2 授業における学び合い・交流活動について

2年生の国語の授業で、スピーチ名人になるために、子どもたち一人一人が自分でつくったスピーチを「大きな声で」「ゆっくり」「はっきり」「前を見て」の視点をもって、課題解決に取り組みました。グループや全体での発表など生き生きと表現することができました。

また、事後研究会、全体会では指導助言者の遠藤さとみ大越小学校長より、スピーチでは「だれに」「何を」「どのように」のモデルを示すなど具体的なお話をはじめ、言語活動の充実、南地区幼小中連携に期待することなど、各校で実践できるご指導をいただきました。

今回も、船引南地区で取り組む児童生徒の学力向上に向けた研修のよい機会となりました。